

高岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント募集結果について

1 意見募集の概要

対象	高岡市文化財保存活用地域計画（案）
意見募集期間	令和6年12月20日（金）から令和7年1月17日（金）
市民等への周知方法	本庁舎、伏木・戸出・中田・福岡支所での縦覧 市ホームページ、市SNS（Facebook、LINE）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	15件（7人）
電子申請	2人
ファクシミリ	0人
郵送	0人
持参	0人
意見箱へ投函	5人

3 提出された意見要旨とそれに対する市の考え方、計画への反映等

【総括表】

区分	意見考慮の結果	件数
◎	計画に反映します。	0
○	ご意見を踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考といたします。	15
□	その他（質問など）	0

高岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント募集結果について

【内容】

No	対象 ページ等	意見の内容（要旨）	市の考え方・計画への反映等	区分
1	「第1章 3歴史的 背景」、「第6章 文化財の保存と活 用の課題と方針 伝える」	高岡市内には定塚交差点→地藏堂の曲がった通り（曲輪）→高陵のJR氷見線踏切→大野のあいの風鉄道の踏切→二枚橋地区→蓮花寺→枇杷首に至る曲がりくねった道路があり、旧北陸街道で昔ながらの様子をよく伝えている。特に蓮華寺（地名では蓮花寺）は、境内に案内板があるように、今でこそ狭い寺域であるが現在よりもかなり寺域も広く、周囲は荘園であり国分尼寺も置かれていたのではないかとされる。 現在は、この曲がりくねった道路は交通には不便であるが、旧北陸道に「案内標識」を数カ所取り付け、説明板でも設置すれば、地域の歴史教材として小学生・中学生（地域的には高陵中、芳野中校区、さらに南からたどれば南星中校区）の生きた社会科教材になると思う。 また、地久子川は古代の「鹿田庄（かだのしょう）」が描かれた東大寺開田図にも示されている川で、現在の出来田、井口本江、二枚橋、蓮花寺のあたりになる。このような古代荘園の推定地であることも案内としてあるとよいのでは。国宝瑞龍寺・勝興寺や重伝建などの目立つ所へのお金の使い方も良いが、地域の歴史教材に目を向けてほしい。	本計画では、「第6章 伝える 方針②『郷土学習の充実』」を掲げており、副読本の充実や通学区域の文化財を用いた出前授業など学校教育と連携した取り組みを進めることとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○
2	「第3章 文化財の 概要 指定等文化財 の概要」	棚田家（伏木）について。棚田家は廻船問屋として栄えた旧家であり、以前のように公開してほしい。 現時点では、建築物と古文書がセットで揃っており、しっかりと維持管理してほしい。藤井家のように、古文書はあるが、建物が無い状態にならないようにしてほしい。	本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲げています。建造物については、所有者の意向を尊重しつつ、支援メニューの提示や助言等を行ってまいりたいと考えています。	○
3	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 活かす」	金屋町は管理された美しい町並みであるが、店舗は少ない。金屋町の活用は吉久同様大きく手を加える必要はない。 産業としては銅器が有名であるが、技術の保存は急務である。職人への補助、後任の育成を今よりも深めるべきである。今後は文化財保護にそった育成が好ましい。今後、文化財は近代も含まれる事となる。近代の建物には銅の瓦や装飾が使われることが多い。これらの需要を高岡銅器が補うことで永久に残るであろう文化財と相互関係を築くことができる。	本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲げており、工芸技術の継承に向けて支援することとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○
4	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 活かす」	金屋町は千本格子の町並みがメインであるが東側の金屋本町の活用は必要である。この地域には工場跡も残っている。西側と比較すると町並みは完成していないが、山町筋との立地は良いのでこの辺りを活用の拠点として改革するべきだ。また、路面電車をこの辺りまで延長し、アクセスを良くするのも提案する。	本計画では「第6章 活かす 方針②『周辺環境の整備』」を掲げており、文化財の魅力を高める取り組みを進めることとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○

高岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント募集結果について

No	対象 ページ等	意見の内容（要旨）	市の考え方・計画への反映等	区分
5	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 伝える」	「伝える」の方針1において日本遺産の活用とあるが、日本遺産は認知度が低い。 また、高岡は二つの日本遺産があるが、北前船の場合他府県や市町村との協力が必須である。 市が日本遺産を認知していない可能性もあるが、日本遺産を使った情報発信は効果を生むとは考えにくい。日本遺産を本（漫画等）とし、初等教育に使うことを推奨する。	「日本遺産」は文化庁より認定される地域の歴史的 魅力や特色を通じて日本の文化、伝統を語るストー リーです。地域に点在する文化財や伝統文化を 「面」として活用し、発信することで地域活性化を 図ることを目的としています。 本市の日本遺産ストーリー「加賀前田家ゆかりの町 民文化－人、技、心－」は、近世から現代までの高 岡の歴史、文化が凝縮されており、本市の歴史文化 を分かりやすく伝える有用なツールであることから、 さらに発信していきたいと考えております。 また、「第6章 伝える 方針②『郷土学習の充 実』」を掲げており、学校教育と連携した取り組 みを進めることとしております。いただいたご意見 は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせて いただきます。	○
6	「第9章 文化財の 防災・防犯」	山町筋の伝建地区はメインの観光地であるため、山町筋は復興が必要である。地震 によって住宅に亀裂が見られる。	本計画では「第9章 守る 方針⑦『被災文化財の 復旧』」を掲げており、所有者と協議をしながら復 旧に向けて対応を進めてまいります。	○
7	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 活かす」、 「第8章 文化財の 一体的・総合的な保 存・活用 関連文化 財群⑥」	山町筋は周辺にも魅力的な建築や町並みが存在している。伝建地区を基盤に周辺を 観光地として開発している川越に倣うべきで、周囲にある未指定の文化財に目をつけ るべきである。特に高岡紡績建物や中越銀行の建物は早急な保護が必要である。現在 は管理者がいるが今後の事を見越すべきである。 「商工業の町の成立と繁栄に関わる文化財群」のストーリーになぜ含まれていない のか分からないが、高岡紡績は高岡のものづくりの歴史を伝える遺産であり、明治期 の事務所、煉瓦造りの工場が一部残っていることは国内を見ても稀有である。金沢市 では金沢紡績の建物は芸術の拠点となり、専売公社の工場は図書館として活用されて いる。京都のNISSHAなど企業が事務所も公開する例がある。	高岡紡績株式会社については、本市の近代化の歴史 において重要であり「第1章 3『歴史的背景』」の 中で記述しております。本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲 げており、文化財指定制度の活用等保存のために必 要な助言を行い、所有者を支援することとしており ます。	○
8	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 活かす」	中越銀行は北陸地方の銀行建築の模範を示しており、藤井丞之助や竹内源造らに関 与している。また周辺には銅板が貼られた所謂看板建築が町並みを形成している。こ れらは空き家となっている事もあり、ここに山町筋では叶えられなかった商業施設を 集中させ、新たなストリート形成も可能ではないか。 さらに町並みの整備として移築も考えるべきである。市内及び県内には取り壊され る未指定文化財もあることから、これらを移築し再活用することを提案する。	本計画では「第6章 活かす 方針②『周辺環境の整 備』」を掲げており、文化財の魅力を高める取り組 みを進めることとしております。いただいたご意見 は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせて いただきます。	○

高岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント募集結果について

No	対象 ページ等	意見の内容（要旨）	市の考え方・計画への反映等	区分
9	「第6章 文化財の保存と活用の課題と方針 活かす」	旧福岡町役場（福岡歴史民俗資料館）は、立地が悪いため観光地として活用出来ない。周囲を開発するか、もう一度役場を移築し、福岡の町並みに設けるべきである。	本計画では「第6章 活かす 方針①『文化財の公開活用の推進』」を掲げており、建造物等文化財の空間を活かしたイベント等の取り組みを進めることとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○
10	「第6章 文化財の保存と活用の課題と方針 守る」	伏木の町並みは今後上手く残せるか不安である。多くの建造物が危険建物となり、中には指定文化財や登録有形文化財も含まれる。まず、伏木地区は文化財保護法に基づき伝統的建造物群保存地区の指定をうけ、復興の基盤整備を国と共に行うべきである。県や国の登録制度も活用し文化財の保存を急務とするべきだ。リターンが無いという考えではなく日本遺産にもあるような北前船が形成した文化を守る事を念頭に持って欲しい。	本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲げています。建造物については、所有者の意向を尊重しつつ、支援メニューの提示や助言等を行ってまいりたいと考えています。	○
11	「第6章 文化財の保存と活用の課題と方針 伝える」	高岡の児童生徒に郷土への理解と愛着を深めてもらうことが重要であるが、瑞龍寺など文化財の来訪者は高齢者が多数を占めており、小中学校での学習機会は少ないのが現状。高岡の文化財の多くは、前田利長公に関わりがあるため、利長公の生涯と町づくりについて学ぶことにより、現代につながる高岡の成り立ちを理解することができる。地元の人々は必ずしも郷土の歴史に詳しいわけではないため、行政や専門家だけでなく、地域の人材を活用すべき。具体的には、市内小中学生に対する文化財の利用料を無料または一律100円に引き下げることや、ボランティアガイドが小中学校に出向いて高岡の文化財や歴史について出前授業を行うことを検討してほしい。	本計画では「第6章 伝える 方針②『郷土学習の充実』」を掲げており、学校教育と連携した取り組みを進めることとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○
12	「第6章 文化財の保存と活用の課題と方針 活かす」	観光客に向けて、町巡りをしやすいようにマップにモデルルートを示し QR コードで紹介するとともに、ルート別に多言語（日・中・韓）での案内サインを設置し、看板色を統一するなどして視認しやすくすることを検討してほしい。	本計画では「第6章 活かす 方針②『周辺環境の整備』」を掲げており、文化財の案内看板等の充実を検討することとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	○
13	「第6章 文化財の保存と活用の課題と方針 活かす」	伏木（高岡）には、国宝ほか歴史的建造物が多くありながら、その財産の価値を地元の人ほど（当たり前のもので）気づかず、今まさに失われようとしている。堀田家の周辺の古民家を堀田善衛記念館又はカフェにするなど、（まずは伏木から）歩きたくなる町を市全体または国の補助金等の大きな規模で造り上げて欲しい。	本計画では「第6章 伝える 方針②『郷土学習の充実』」を掲げており、出前講座や公開講座の充実など市民が気軽に文化財に触れる機会の創出を進めることとしております。いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。また、歴史的建造物を活かしたカフェ等の出店について、希望があれば使用可能な国等各種機関の支援メニューを紹介してまいります。	○

高岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント募集結果について

No	対象 ページ等	意見の内容（要旨）	市の考え方・計画への反映等	区分
14	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 守る」	伏木商工会議所を保存活用してほしい。	本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲げています。建造物については、所有者の意向を尊重しつつ、支援メニューの提示や助言等を行ってまいりたいと考えています。	○
15	「第6章 文化財の 保存と活用の課題と 方針 守る」	伏木湊町にある旧商工会の建物を現状のまま保存してほしい。伏木地区の町屋を残して欲しい。	本計画では「第6章 守る 方針①『文化財所有者・担い手等への支援』」を掲げています。建造物については、所有者の意向を尊重しつつ、支援メニューの提示や助言等を行ってまいりたいと考えています。	○